



勝高 同窓会報

2018.10
Vol. 28



就任のご挨拶

勝山高等学校同窓会

会長 木下 克則
(第28回 昭和51年卒)



平成30年8月11日の同窓会総会において、阿部会長の後任として会長を務めさせて頂くこととなりました。昭和25年(1950年)に創設され、間もなく70年を迎える歴史と伝統に培われた当会の会長職で重責ではありますが、新役員の方々と一緒に同窓会活動を盛り上げていきたいと思っております。ただ、近年少子化の影響もあり卒業生が減少する中、当会活動もいろいろと厳しい局面に立たされています。今後は、これまで以上に、同窓会会員の皆様からの絶大なるご支援・ご協力を賜りながら、同窓会の発展と勝山高校生の更なる活躍に寄与していく所存です。

最後に、6年間会長としてご尽力頂いた阿部前会長に感謝の意を表し、就任の挨拶とさせて頂きます。今後とも、どうぞ宜しくお願い致します。

退任のご挨拶

勝山高等学校同窓会

前会長 阿部 光郎
(第22回 昭和45年卒)



同窓会会員の皆様には、益々ご健勝でご活躍のことと心よりお慶び申し上げます。又、日頃より母校の発展に對しご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。さて、このたび八月十一日の総会をもちまして、勝山同窓会会長を退任致しました。

思えば、平成十九年理事就任、平成二十五年より会長として、十二年間に渡り同窓会運営に携わらせていただきました。会長任期中、特に思い出に残る出来事は、山口茜さん率いる女子バドミントン部の全国制覇等の活躍により、勝山高校が大きく報道・注目され、全国各地に住む同窓会会員の皆様から多くの称賛の声をいただきました。

又、十八年ぶりに関西勝高会が復活開催された事、これも関西勝山会当時の役員の皆様、そして関西在住の私の同期を中心に、皆様から絶大なるご協力をさせていただき本当にありがとうございました。ここまで無事に任務を終える事ができましたことは、理事役員、そして多くの会員の皆様のご協力のおかげと深く感謝申し上げます。今後は木下会長以下新体制のもと、益々発展されます事を願い、退任の挨拶とさせていただきます。

ご挨拶

勝山高等学校長 油谷 泉



同窓会会員の皆様には、日頃から、本校の教育活動の充実に格段のご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、平成30年度の勝山高校は全校生徒367名でスタートしました。各学年4クラスと小規模の学校ではありますが、それを強みとして、生徒一人ひとりにきめ細かい指導を行い、進路希望の実現や地域に信頼される学校となるよう教職員が一丸となって努力しております。

近況をお知らせしますと、次ページに掲載させていただいたように、今春の卒業生127名の進路先は、国立大学34名、私立大学37名、短期大学14名、専修学校等25名、就職等17名で、4年制大学への進学率は56%でした。一方、部活動では、男女バドミントン部が北信越大会・インターハイに出場したほか、陸上部も11名が北信越大会に出場しております。また、県民スポーツ祭では弓道部男子が団体優勝、個人戦でも男子が優勝しました。文化部においても、日本文化部が第9回全国高校生太鼓甲子園で最優秀賞を受賞したほか、吹奏楽部も全国吹奏楽コンクールの県予選で金賞受賞校の1つに選ばれています。

このように、本校の生徒は、勝山高校の伝統である文武両道を目指し、積極的に学校生活を送っています。学校のホームページ等でも様々な取り組みや成果の発信を行っていますので、同窓会会員の皆様におかれましては、今後とも母校の教育活動を見守っていただくとともに、引き続きご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

勝高生がんばっています

遠足

5月にクラスの親睦を深める遠足に行きました。クラスごとに行き先を決め、楽しい1日をごしました。池田町でのジップラインや敦賀で地曳き網体験など普段出来ない体験をして良い思い出となりました。



進路実現に向けて

3年生は部活動も引退し、進路実現に向かってサポートをかけ始めました。また、今年度から総合の時間に勝山の地域活性化策を考える取組みを行っています。



部活動 男女バドミントン部

北信越大会・インターハイ出場
女子バドミントン部北信越大会優勝(福井県勢初)



日本文化部

第9回全国高校生太鼓甲子園 最優秀賞



陸上部

北信越大会出場



NHK杯全国高校放送コンテスト

福井県予選会 優秀賞受賞
全国大会出場

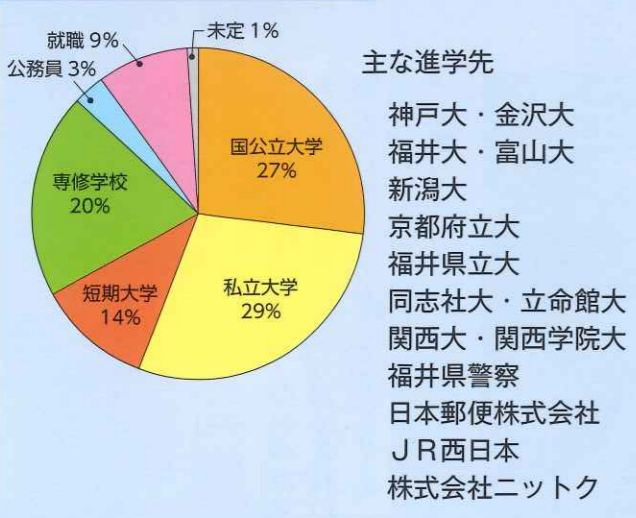


弓道部

県民スポーツ祭 団体優勝
個人優勝



卒業生の進路(今春卒業)



修学旅行

2年生は7月2日(月)～5日(木)に北海道へ修学旅行に行ってきました。北海道夕張市を訪れ、勝山市の地域活性化のヒントを得てきました。



日時 平成30年6月3日(日)午後12時より
場所 東海大学校友会館
出席者 第2回(昭和25年卒)から第49回(平成9年卒) 約80名
来賓等 勝山市長 山岸正裕 様 他2名、勝山高等学校校長 油谷 泉 様
 勝山高校同窓会長 阿部光郎 様 他2名、
 福井県東京事務所長 内田和彦 様



東京勝高会
前会長 金子由成

東京勝高会は、昭和46年に設立され、第1回総会は、日比谷の日生会館で行われ、途中一時中断もありましたが、第7回(平成17年)から、隔年に実施しています。

第13回「東京勝高会」総会・懇親会は、平成30年6月3日(日)12時から、霞が関「東海大学校友会館」で、第2回から第49回までの卒業生とご来賓を含め、約90名の参加を得て開催いたしました。

懇親会は、鳥山悟氏(第22回卒)の司会で進められ、東京勝高会会長金子由成氏(第9回卒)の挨拶にはじまり、来賓としてご出席された勝山市長山岸様から勝山市の現況等を含めた本会への心温まる祝辞を、つづいて勝山高校長の先生油谷様(第32回卒)から学校の現況のご説明をいただきました。

乾杯は勝高同窓会長阿部様の音頭で、一同会の発展と再会を祝し、杯を挙げ

ました。

会は久しぶりに再会した同級生、先輩、後輩がお互いの健康を寿ぎつつ、勝山の思い出を語り合い終始和やかに楽しく進む中、福井県東京事務所長内田様からご挨拶をいただき、その後、「えちてつ物語 わたし、故郷に帰ってきました。」のプロモーションビデオの紹介がありました。つづいて、故郷の風景を思い起こしながら、里芋の煮ころがしに舌鼓し、地元勝山の名物品「お焼き」、くるみ羊羹等のお楽しみ抽選会が始まり場が盛り上がったところで、勝山高等学校校歌を全員で合唱しました。今年は、役員の交代が発表されました。これまでの金子会長(第9回卒)から、出口会長(第19回卒)へと新旧の役員の紹介があり、瞬く間に2時間半の時間が経ち、最後に副会長前川氏(第14回卒)の閉会の挨拶で次の再開を約し、会は終了しました。

東京勝高会もなかなか参加者増、若返りがかれず苦勞してきましたが、新たに女性部会を設立し、また若い期別幹事の皆様の努力によりまして、ようやく70歳未満の方が60%を超えました。次回、第14回は、東京勝高会設立50周年になります。更に検討を重ね、

多くの方に参加していただけるよう考えたいと思います。
 最後になりましたが、今回の開催にあたりまして、同窓会本部の皆様のご協力をいただき有難うございました。
 今後とも、何卒宜しくお願い申し上げます。



最後に、全員で記念写真を撮影しました。



実行委員長
岩岡 貴央
(第43回 平成3年卒)

平成30年8月11日、勝山市教育会館ホールにおいて、平成30年度(第20回)勝山高等学校大同窓会が開催されました。

大同窓会には、山岸正裕勝山市長をはじめ多くの来賓の方々にご臨席を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。

さて、今年度の大同窓会のオープニングは、勝山高校吹奏楽部の皆さんによる迫力のある演奏で盛大に幕を開けました。大同窓会に参加いた



だいた百数十名の卒業生は、後輩たちのすばらしい演奏を熱心に聞き入っていました。

その後、山岸市長をはじめ来賓の皆様からご挨拶をいただき、松井拓夫県議会議員の音頭で乾杯を行いました。懇親会がスタートしました。

懇親会では、久しぶりの旧友との再会、また数十年ぶりの恩師の先生との再会に楽しいそうに終始笑顔で懇談されている姿が印象的でした。更には、同窓生の先輩、後輩の垣根を超えてお酒を酌み交わしての懇談もあり、気が付くと懇親会終了の時間となり、あつという間の2時間だったのではないで



各界において国内はもとより世界を舞台に活躍している方が多くおられます。是非、各界で活躍されている方にも同窓会へ参加いただき、勝高大同窓会が盛大に開催されることを願っています。



最後になります。今年の大同窓会は20回目の開催となりました。この節目の年に実行委員長という大役を仰せつかったことは喜ばしい反面、無事に大役を果たせるか心配をしておりました。しかし、勝山高校同窓会の木下新会長をはじめ同窓会役員の皆様、実行委員長(昭和46年卒、昭和56年卒、平成3年卒、平成13年卒)の皆様、そして勝山高校事務担当の先生方のご協力をいただき、無事に大役を果たすことができました。誠にありがとうございました。





(写真上段左から) 長谷川晶俊選手、宇田崇二選手、宇田峻也選手、宇田彬人選手 (写真下段左から) 山内美佳選手、黒田夏美選手、石井翔子選手、矢口小百合選手

にいがた妙高はね馬国体

クロスカントリー競技 リレー

成年男子初優勝！ 女子8位入賞！



平成30年2月28日に行われた第73回国民体育大会冬季スキー競技クロスカントリーリレーにおいて「オール勝高」で挑んだ福井県成年男子チームが、見事優勝！。また、勝高出身・現役者中心で望んだ福井県成年女子チームが8位入賞と好成績を上げました。

この冬季国体の成績が福井しあわせ元気国体の得点に加算され、最終成績となるので「チーム福井」としての天皇杯、皇后杯の獲得に向けて、好スタートを切りました。今回は、冬季国体に出場された選手に優勝・入賞の感想、福井しあわせ元気国体へ向けてのエール、勝山高卒業生で良かったことをうかがいました。

■長谷川晶俊選手
福井国体で福井県チームの一員としてリレーで優勝出来たことは素直に嬉しかったです。

なぜなら私は中学生の頃からずっと一緒にスキーをやってきた宇田3兄弟と福井国体で優勝するという目標が大学に行く決心だったからです。

冬季国体では、今まで以上に福井県チームとして頑張れたと思うので夏季国体では天皇杯獲得に向けてこの勢いを加速させて欲しいです。

高校時代からスキーをする中たくさんのお話を頂き本当に勝山高の卒業生でよかったです。

■石井翔子選手
今年の冬季国体は、夏季の福井国体に弾みをつけるためにも結果を求めてもらっていた大会で各々プレッシャーを感じていましたが、そのプレッシャーを跳ね除けてこのよな結果を残すことができて本当にうれし

大同窓会のリニューアルについて

毎年、8月に行われてきました勝高大同窓会は、非常に歴史ある活動として定着してきています。しかし、毎年幹事学年委員の方々には大変ご負担をお掛けしてきています。

卒業生も減少する状況の中、学年委員さんも減少し、ご負担が更に増大してまいります。そこで、この20回を機に運営方法を見直そうという事になりました。

つきましては、来年度からの大同窓会は以下の様にリニューアルしたいと思います。乞うご期待ください。

【変更点】

- ①幹事学年委員
30歳・40歳・50歳・60歳(還暦)・70歳(古希)の学年委員
- ②会場(飲食)
ホテルなどでのビュッフェ方式での会食(手前で用意はしない)
- ③学年委員の役割
 - ・各学年の同窓生への参加呼びかけ
 - ・当日の進行役(60歳担当)
 - ・催し物(例:ビデオ放映)などの企画運営



今後も、末永く継続させていく為に、皆様のご支援・ご協力のほど宜しくお願い致します。

勝高同窓会報は「福井県立勝山高等学校 ウェブサイト」で閲覧できます。

勝山高校

<http://www.fki-katsuyama-h.ed.jp/>



勝山高等学校同窓会役員

役職	氏名	卒業年度	役職	氏名	卒業年度
会長	○木下 克則	S51	常任理事	柳原 直人	H8
副会長	永井 正美	S50	〃	○榊家 慎一	S55
〃	山岸登美子	S55	〃	○山川 雄三	H8
会計	○中山 弘之	S51	監事・事務局	加藤慎一郎	
監査	荒井由紀夫	S45	〃	黒川 祐治	
〃	○川嶋 正巳	S60	顧問	松村 龍二	S31
常任理事	大道真知子	S51	〃	山岸 正裕	S39
〃	森石 義浩	H元	〃	阿部 光郎	S45
〃	三屋 久美	H2	〃	油谷 泉	S55
〃	坂 峰太郎	H4	〃	北出 奈美	
〃	小山 康之	H6			

○は新任の方です



■宇田峻也選手
正直、リレーで優勝するとは思っていませんでした。優勝したときは信じられない気持ちだった。他のチームが思うように滑れない中、自分たちがいつも通りの実力を発揮できたのはチーム福井としてしっかりと準備してきたからだと思う。夏の国体に

■宇田彬人選手
2018年に新潟、妙高で行われた成年男子リレーで優勝できたことはとても嬉しかった。今までの国体で兄弟3人でリレーを組み、優勝した事は無いと思えます！また、今回の国体では今までになく皆さんの応援、サポートがありました。みんなが勝たせてくれたことに感謝しています。そして本当に最高でした！

福井元気国体では、今度は僕が応援、サポートにまわって支えます。なかなか他の競技を生で観ることができないので観戦したいと思っています。

僕は、早稲田大学を卒業して競技を続けています。まず、2022年の冬季北京オリンピックを目指して精進します。ご声援よろしくお願致します！

■黒田夏美選手
私は高校生活の中で、部活の存在が大きかったです。約3年間スキー部として活動し、一番心に残っているのは、私のラストレースになった新潟冬季国体女子リレーで8位入賞したこと。最後に国体入賞という自分の中にあった大きな目標を達成し、良い形で競技を終えることができて幸せでした。

2018年冬季国体は福井県として良い成績を残せたと思うので少しでも夏の福井国体で活躍する選手皆さんの力になれたいと思います。

高校生活の中で、良い友達・先生方に出会うことができてとても楽しい3年間になりました。

■宇田崇二選手
選手や監督を含めたスキー競技に関わった方々のこれまでの努力が結果となり、とてもうれしです。集大成の国体では、満足いく滑りができたと思っています。これまで、勝山高関係者から温かい言葉をかけていただいていたことができて良かったです。これからもスポーツを通じて勝山高校が活気あふれる学校になってほしいです。夏の国体が迫ってきました。結果を残すことに意識しすぎることなく、楽しんでプレーできるように、大会まで調整して迎えてほしいと思います。

平成29年度 決算報告

■収入の部

項目	平成28年度決算
前年度繰越金	971,110
入会費	635,000
同窓会会報協力金	681,000
同窓会会報パンフレット同封負担金	288,800
銀行受取利子	2
合計	2,575,912

■支出の部

項目	平成27年度決算
同窓会報	
会報誌・協力金チラシ印刷	557,280
会報誌発送宛名ラベル用紙代	30,240
発送宛名ラベル印刷作業	20,000
発送作業業務委託費	50,000
郵送料	654,240
小計	1,311,760
大同窓会実行委員会事務費	55,512
大同窓会補てん金	44,021
同窓会名簿更新作業	92,374
寄付金(勝高)	200,000
卒業証書筒	41,148
事務委託	120,000
事務局事務消耗品費・通信費	32,146
払込手数料	23,412
雑費 合計¥123,000 内訳	120,000
	3,000
合計	2,043,373

一貫生産を**極**める



私たちは表面処理のトップメーカーとして豊かな環境と創造するチカラを次の世代へ伝えます



株式会社 フクタカ

取締役社長 棚林 英美

勝山高等学校卒業生 58名在職



ISO9001:2015 認証取得
ISO14001:2015 認証取得

〒911-0834 福井県勝山市遅羽町大袋61-35
TEL 0779-87-3350(代)
<http://www.fukutaka.jp>

U・Iターン 行こう。戻ろう。勝山へ!

「世界70億の人々に、高品質な医薬品をお届けする。」

その我々のミッションを共有し、地元のグローバル企業で活躍しませんか。



私たちは、マイランの一員です。
マイランは米国に本社を構える、医薬品の製造・販売における世界有数のグローバル企業。「世界70億の人々に、高品質な医薬品をお届けする」というミッションの実現に向けて、165の国と地域で製品を取扱っています。私たちマイランEPDは、成長著しいマイランの一員として、消化器疾患、呼吸器・アレルギー疾患領域、感染症領域、ウイメンズヘルスの領域を中心に医療用医薬品の製造、流通および販売に従事。日本の、そして世界中の人々に高品質な医薬品をお届けし、ともに「健康でより良い世界を創る」ことを目指していただける新しい仲間を募集しています。

〈業務内容〉

品質保証・品質管理・製造技術(製剤開発・エンジニアリング)等、世界基準の医薬品製造に携わっていただきます。

マイランEPD合同会社 勝山事業所

福井県勝山市猪野口37-1-1
http://mylancareers.jp/recruit_info/katsuyama/



まずは
お電話ください

☎ 0120-455-111

勝高同窓会報 第28号
2018年10月

発行 福井県立勝山高等学校同窓会
事務局 〒911-0811 福井県勝山市片瀬町1丁目402番地
勝山市民交流センター内
TEL / 0779-87-1011 FAX / 0779-87-1022